

2016年度修士論文・特定課題研究報告発表会(2月25日)プログラム

時間	会場	発表者	題目
10:00～10:30	201教室	西郡 裕子	個人情報保護条例の分析
	303教室	大窪 巳祐*	SIEMを活用したマルウェア検知に関する考察
	304教室	野村 晃*	ProVerifを用いた暗号プロトコル検証についての調査研究
10:30～11:00	201教室	副島 恵子*	環境変化に対応できる情報セキュリティ組織の機能と構造-CSIRTに着目した考察-
	303教室	末次 信貴*	APIコールの使用頻度からみるマルウェア機能分類ごとの挙動考察
	304教室	高橋 修*	格子基底縮小アルゴリズムを用いたMcEliece暗号への攻撃法について
11:00～11:30	201教室	宮坂 剛*	小規模CSIRTにおける効率的な情報収集について
	303教室	田中 郁夫*	マルウェア検知に関するメモリフォレンジックツールの機能評価
	304教室	西山 賢志郎	事前知識を利用した位置情報匿名化手法の改良
11:30～12:00	201教室	平原 雄三	クラウドサービス利用の阻害要因に関する考察
	303教室	吉村 豪康	マルウェアの活動解析による検知手法の提案
	304教室	楠美 淳弥	ブロック間類似度による暗号化ファイルの検出
13:00～13:30	201教室	中島 尚樹	Tor通信・ダークウェブの犯罪利用に関する法的考察
	303教室	宮下 祥子*	標的型攻撃学習ツールの開発
	304教室	長谷川 真大	スマートフォンのOSアップデートを管理するための企業向けクラウドサービスの検討
13:30～14:00	201教室	尾藤 宏光*	システム開発契約とセキュリティ
	303教室	天野 純一郎	アナリストにおけるサイバー脅威情報分析強化の研究-OSINTによる収集と自動タグ生成システムの提案
	304教室	竹本 和弘*	脅威分析に基づいた工場内制御システムのセキュリティ向上策の提案
14:00～14:30	201教室	嶋谷 拓弥*	製造業における情報資産の定義および管理体制に関する考察
	303教室	早川 宏志	送信パケットを用いたTor通信先の識別法の検討
	304教室	張 俊彦	Webブラウザを踏み台にしたDDoS攻撃の対策の検討
14:30～15:00	201教室	豊田 訓久	プロジェクトマネジメント義務の限界
	303教室	本田 晃嗣*	Tor Hidden Service ノードに対する成りすまし攻撃の研究
	304教室	諏訪部 功吉*	スマートフォンアプリケーションの動作状況を利用したフォレンジック手法の検討
15:00～15:30	201教室	脇坂 尚弘	インテリジェンスに係る情報公開の在り方についての一考察
	303教室	山田 大*	欺瞞を用いた能動的サイバー攻撃-防御手法の提案と実装
	304教室	石井 友基*	プレッシャーによるサイバー攻撃兆候検知に向けた検討
15:30～16:00	201教室	前田 邦宏	戦争アルゴリズムと人間性の安全保障
	303教室	武富 広成	IoTデバイスに対する電力浪費攻撃の実証
	304教室	岡田 周平	不正送金対策向け金融サイバーキルチェーン
16:00～16:30	201教室	島田 裕樹	海事インフラのサイバーセキュリティ
	303教室	榎本 尚代*	ヘッダフィールド名の出現傾向によるDrive-by Download攻撃の検知手法
	304教室	柴田 雅彦	IoTにおけるコンテキストベースアクセス制御方式の提案と評価
16:30～17:00	201教室	須藤 俊明	「基礎自治体の情報セキュリティ」-達成度評価と向上策-
	303教室	柴田 理洋	Attack Tree を用いたクリティカルノード検出による効果的対策の提案
	304教室	衛 霄	SDNによるステートフルファイアウォールの検討
17:00～17:30	201教室	李 泰潤	準同型暗号における大小比較とその応用

*特定課題研究